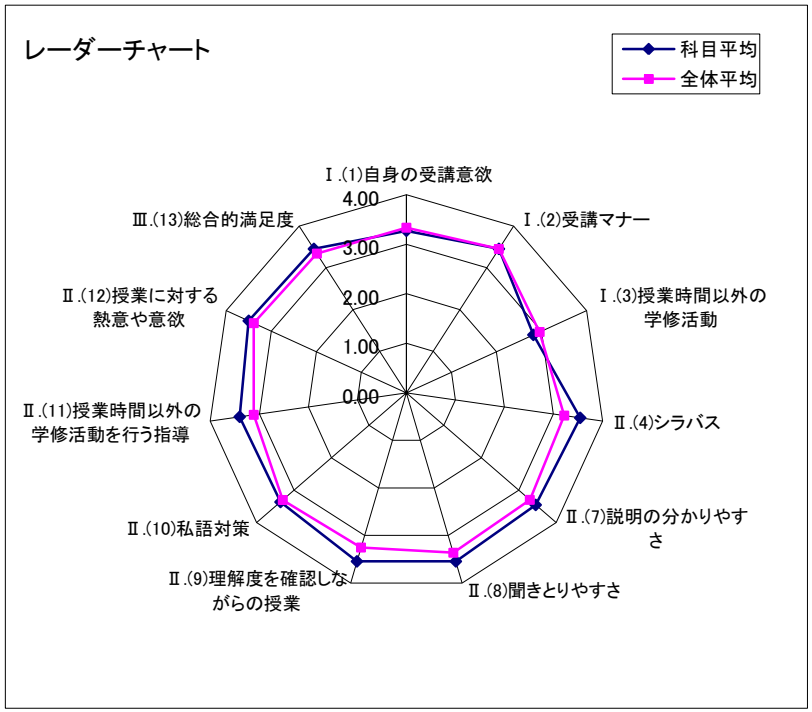
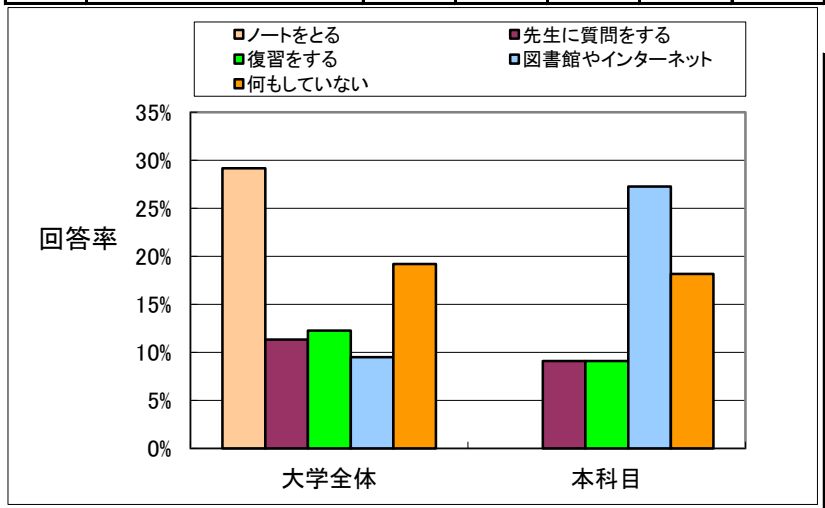
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.27	3.33
	Ⅰ.(2)	3.45	3.45
	Ⅰ.(3)	2.82	2.96
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.55	3.22
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.45	3.30
	Ⅱ.(8)	3.55	3.36
	Ⅱ.(9)	3.55	3.25
	Ⅱ.(10)	3.36	3.30
	Ⅱ.(11)	3.40	3.11
	Ⅱ.(12)	3.50	3.39
総合評価	Ⅲ.(13)	3.45	3.34

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

<※複数選択可項目>		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(14)	授業を理解するための工夫	0.0%	9.1%	9.1%	27.3%	18.2%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.18	3.25
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(12)	3.48	3.28
総合評価 Ⅲ.(13)	3.45	3.34

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度　後期
時間割番号	5234
科目名	ITリテラシーⅡ
教員名	

①授業計画の達成度について

授業の内容は、ExcelとPowerpoitの基礎習得であり、Powerpoitについては概ねシラバス通り、テキストの内容を取り組むことができたが、Excelは数式処理等も含まれており、若干進行が遅れた。授業の回数が進行するにつれ、少なくない受講生がより積極的に課題に取り組んでいる様子が見られたのは受講生自身に自己達成感が感じられていたのではないかと想像している。アンケートは、全体に想定以上の評価と考えている。

②授業の進め方について

一番心掛けたのは、学生の取り組み状況を確認しながら、着実な理解を図り、スキルを身に着けてもらおうということだった。テキストの各課題について提示画面を使って一通りの説明をしたうえで、教室内をまわり、個別の質問に根気よく対応した(つもりである)。各課題の取り組みが終わると、サーバー上の提出箱に提出させた。それぞれの課題に対する解答が、丁寧に記述されているテキストを使用しているため、受講生も比較的自分のペースで取り組めたものと考える。Powerpoitの取り組みにおいては、たとえばスティーブジョブスのプレゼンテーションやスピーチなどの映像も活用し、興味をもたせるようにした。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

今年度の、およびこれまで担当した授業を踏まえ、さらに工夫を重ねて授業に臨みたい。

奈良産業大学